

古井の川通信

思いやる子 考える子 がんばる子

学校便り

7月

出部小学校
7月12日発行



地域とともにある学校に

令和6年度の1学期も早いもので、7月になりました。入学式の日から初めての小学校生活を始めた1年生の子どもたちも、すっかり出部小学校の仲間となり、心身ともに成長してきている姿があります。また、2年生から6年生の子どもたちも、それぞれの学年において、身に付けるべき学習内容を着実に身に付けていこうとしている姿勢が見られます。

保護者の皆様とも、懇談、参観日、日々の連絡等で、学校生活や学習状況等について、様々な相談をしたり確認したりしながら、共通理解を図らせていただけてきました。また、先日は子どもたち一人一人と担任が教育相談を行い、じっくりと子どもたちの思いに向き合う時間をとりました。

子どもたちや保護者の皆様との関わりから知ることができたことを活かし、一人一人の子どもたちがその子らしく過ごすことができる教室環境や学校環境、地域環境作りにおいて、多様な学びの場を創出していくためにも、多くの部分において参考にさせていただきます。

また、先日の6月5日(水)には、**第1回学校運営協議会**を開催いたしました。校長が学校運営基本方針を説明し、様々なご意見をいただき基本方針を承認していただきました。委員の方からいただいたご意見の一部です。

- ・学校教育目標に対する先生方のベクトルをしっかりと合わせて教育をしてほしい。
- ・ふるさと出部を愛する子どもを育て、地域に残ってほしい。
- ・学力も大切だが、しっかり遊んで元気に育ってほしい。また、一人一人の子どもの特性に寄り添った対応をしてほしい。
- ・立腰は、学習に向かう姿勢を育てるために、とても有効であり、今後も大切にしたい。
- ・低学年のうちから、算数に苦手意識をもっている児童が多いので、取り組みを充実させてほしい。
- ・家庭がしなければいけないこと(挨拶等)もある。家庭でも協力をしていきたい。
- ・おとなしい児童が多い。元気な挨拶ができる子が増えるとよい。
- ・子どもの成長には、親や先生の影響が大きい。しっかりと頑張って、子どもたちを育ててほしい。

学校経営計画書や子どもたちの様子を説明することで、学校の様子を知っていただき、学校への要望を教えて頂くことができました。特に、**挨拶については共通の課題として挙がり、取り組まなければいけない問題として共通認識することができました。**今後の学校運営協議会で、挨拶についての学校の取組や地域での様子等を話し合い、挨拶がしっかりとできる子どもたちが増えることを願っています。

本校は、地域のためにご尽力いただく全ての皆様や関係機関と連携を図り、地域に根差した出部小であり続けたいと考えます。皆様と協働した教育活動の推進を、共々によろしく願っています。

5年生 夢の教室!

6月19日(水)に5年生の「夢の教室」がありました。元サッカー選手の紫田真奈未さんに「夢をもつことの大切さ」や「諦めない気持ちの大切さ」について、語っていただきました。今年度は数年ぶりに対面で交流することができ、子どもたちにとっては大変貴重な時間になりました。

今回の経験をきっかけにして、様々なことに挑戦してほしいと願います。



交通安全教室

6月3日(月)は3~6年生を対象に交通安全教室を行いました。自転車シュミレーターを使って、正しい自転車の乗り方を学習しました。また、1~2年生も4月に体育館で「正しい横断歩道の歩き方」について練習しました。

夏休みが始まりますので、ご家庭でも自転車の整備や安全な乗り方・横断歩道の渡り方などについて話題にしてみてください。



学習の手引きを作成しました

今年度、出部小学校では学習の手引きを作成しました。冊子には、授業の受け方や家庭学習の方法、自主学習の例と学年末に身に付けておきたい力等の内容が記載されています。

子どもたちの学力を高めるためには、学校の授業だけではなく、家庭での学習の取組も大切になってきます。特に自主学習は、「10年後、20年後に生きる力」を育むために大切な学習です。これからの時代、単純作業はAIに取って替わると言われています。そのような中、新たな課題に直面したときに、新しいことを創造できる人材が、今後必要とされます。誰かの指示を待ち、言われたことを言われた通りにやるのではなく、そのときに何が必要かといった最善策を考え、プラスアルファの仕事ができる、そのような力が求められています。自主学習を通して、将来に生きる力を身に付けてほしいと願います。



学習の手引き



出部小学校

名前